

例 言

1. 本書は、埼玉県入間郡大井町内に所在する遺跡群の2001年度の発掘調査報告書である。
2. 発掘調査は国庫（4,150,000円）県費（2,075,000円）の補助金の交付を受け、平成13年4月1日から平成14年3月29日まで、整理作業は平成13年4月1日から平成15年3月28日まで実施した。
3. 調査組織

調査主体者	大井町教育委員会	文化財保護係長	坪田幹男
担当課	生涯学習課文化財保護係	文化財保護係・庶務	高橋偕子
教育長	遠藤正明	文化財保護係・発掘調査担当者	高崎直成・鍋島直久
教育次長	池本敏雄	大井町臨時職員・発掘調査補助員	土本医(平成8年5月1日 ～平成14年8月31日)・早川由利子(平成14年9月17日～)
生涯学習課長	金子忠弘		
4. 本書作成にあたっての作業分担は次のとおりである。
 本書の執筆は縄文時代の遺物を今井堯、第Ⅸ章（2）を土本医、それ以外を鍋島が行なった。
 挿図割付：高橋けい子 写真図版割付：青山奈保美 土器復元：中田藤子 旧石器実測：土本医
 土器実測・拓影：青山奈保美、石垣ゆき子、須藤さち子、丹治つや子、福島雅子、山口妙子
 トレース：小林登喜江 表作成：植田勢津子、福島雅子 図版作成：青山奈保美、石垣ゆき子、
 須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子、福島雅子 遺構写真：鍋島直久、高崎直成、土本医、坪田幹男
 遺物写真：小室 登（巻頭遺物写真）、鍋島直久、青山奈保美
 遺物洗浄・注記・石器実測の一部を（株）東京航業研究所に委託した。また、整理作業全般において日本考古学協会の今井堯氏の援助と協力を得た。
5. 各遺跡の調査から報告書刊行にいたるまで下記の諸氏・機関より御指導・ご協力を賜った。（敬称略）
 会田明、浅野晴樹、天ヶ嶋岳、荒井幹夫、市丸靖子、上田寛、内田賢司、越前谷理、大久保淳、岡田賢治、
 加藤秀之、梶原勝、梶原喜世子、神木繁嘉、國見徹、隈本健介、小出輝雄、駒井和久、小室登、桜井信枝、
 笹森健一、佐藤啓子、島田一郎、高橋京子、田中信、丹治剛、中村愛、原口雅樹、早坂廣人、堀善之、
 松本新八郎、松本富雄、水村孝行、柳井章宏、柳沢健司、和田晋治、
 埼玉県教育局生涯学習部文化財保護課、東久保土地区画整理組合、大井町立郷土資料館、大井町遺跡調査会
6. 発掘調査ならびに整理作業参加者は下記の皆様である。
 〈発掘調査参加者〉（敬称略）
 浅野賢太郎、新井和枝、飯塚泰子、伊藤弘一、伊藤大地、井上晴江、海老原サナエ、大曾根キク子、大塚香、
 笠原英子、加藤智香子、金子君子、小林こずい、酒井昭、佐久間ひろ子、佐藤裕幸、篠崎忠三、嶋田侑一郎、
 鈴木英子、鈴木エミ子、関田成美、高貝しづ子、田畑真基、戸澤竹二、中嶋末子、新本伸枝、野岡由紀子、
 林きぬ子、比嘉洋子、増沢勝実、松村さとみ、三村美代子、村端和樹、横井治水、若尾久美子、若林紀美代
 〈整理作業参加者〉（敬称略）
 青山奈保美、石垣ゆき子、植田勢津子、小野太樹、小野寺佳代、加藤淳子、蕪木友美、鎌倉聖悟、
 小林登喜江、斎藤卓、椎名久美子、嶋田泰生、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子、中田藤子、野口裕子、
 日比谷和美、福島雅子、前橋佑紀、丸山香織、本橋克則、山口妙子

凡 例

1. 本書の遺構・遺物挿図の指示は以下のとおりである。
 - (1) 縮尺は原則として
 遺構配置図 1:300 遺構平面図・遺物出土状況図 1:60、1:30 炉などの詳細図 1:30
 土器実測図 1:4、1:3 土器拓影図 1:3 石器実測図 1:3、2:3 銭 1:1
 - (2) 遺構断面図の水糸高は海拔高を示す。明記していないものは同図版中の前遺構の海拔高に同じである。
 - (3) 遺構図における screen-tone の指示、遺物出土状況のドットの指示。
 攪乱  地山（ローム） 焼土 
 土器 ● 石器 ★ 黒曜石・チャート ▲ 礫○
 - (4) 土器実測図における screen-tone の指示。
 地文縄文 撚糸文
 - (5) 土器断面図は、「網目」が繊維含有、●が雲母粒を含有する縄文土器を表わしている。
2. 住居跡名は、遺跡内の通し番号である。
3. 本報告にかかる出土品及び記録図面・写真等は一括して大井町教育委員会生涯学習課に保管してある。

第2表 2001年度埋蔵文化財調査一覧表

No	遺跡・地点名	申請地	調査面積 (m ²)	開発面積 (m ²)	原因	調査期間	調査措置
1	亀居遺跡第54地点	鶴ヶ岡2-28-17	56	148	個人住宅	13.4.24~13.4.27	試掘
2	亀居遺跡第55地点	鶴ヶ岡2-28-16	45	148	個人住宅	13.11.14~13.11.16	試掘
3	江川東遺跡第6地点	東久保1-168-7	15	71	個人住宅	13.7.17	試掘
4	亀久保堀遺跡第29地点	東久保29街区1.2.7.8画地	161	1,769	店舗	13.4.17 13.4.18~13.4.20	試掘調査後遺跡 調査会で本調査
5	東久保遺跡第41地点	東久保4街区6.7画地	37	112	個人住宅	13.5.28~13.5.29	試掘
6	東久保遺跡第42地点	東久保19街区10画地	160	864	駐車場	13.4.18~13.4.21	試掘
7	東久保遺跡第43地点	東久保15街区14.15画地	37	142	個人住宅	13.5.22~13.5.25	試掘
8	東久保遺跡第44地点	東久保19街区9.11.12画地	186	757	倉庫	13.5.10~13.6.29	試掘
9	東久保遺跡第45地点	亀久保258-21	31.5	100	個人住宅	13.6.1	試掘
10	東久保遺跡第46地点	東久保17街区3.4画地	49	135	個人住宅	13.6.4~13.6.6	試掘
11	東久保遺跡第47地点	東久保31街区6.13画地	321	1,203	店舗	13.10.11~13.10.26	試掘
12	東久保遺跡第48地点	東久保18街区9.10画地	178	518	分譲住宅	13.12.12~13.12.25	試掘
13	東久保遺跡第49地点	東久保13街区7画地	1	100	分譲住宅	14.2.12~14.2.13	試掘
14	東久保西遺跡第11地点	東久保12街区5.9画地	79	1,445	駐車場	13.6.11~13.6.12	試掘
15	東久保西遺跡第12地点	東久保11街区9.13画地	387	1,074	店舗	13.6.25~13.7.2	試掘
16	東久保西遺跡第13地点	東久保14街区11画地	27.2	275	個人住宅	13.10.13~13.10.26	試掘
17	東久保西遺跡第14地点	東久保11街区10画地	60	237	店舗	14.1.31~14.2.4	試掘
18	東久保南遺跡第24地点	東久保49街区6画地	420	1,051	共同住宅	13.4.2~14.4.8	試掘
19	東久保南遺跡第25地点	東久保49街区2.3画地	596.6	1,388	中古車展示場	13.9.26~13.10.12	試掘
20	東久保南遺跡第26地点	東久保63街区3画地	40.5	208	店舗	13.10.30~13.11.1	試掘
21	西ノ原遺跡第120地点	大井・苗間24街区4画地	466	1,120	共同住宅	13.5.7~13.5.15	試掘
22	西ノ原遺跡第121地点	旭1-15	764	803	個人住宅	14.2.7~14.3.8	教育委員会で本調査
23	西ノ原遺跡第122地点	大井・苗間14街区8画地	252	593	共同住宅	14.3.9~14.3.19 14.6.21~14.7.22	試掘調査後教育 委員会で本調査
24	中沢前遺跡第23地点	大井・苗間30街区1画地	85	261	個人住宅	13.5.11~13.5.15	試掘調査後教育 委員会で本調査
25	神明後遺跡第15地点	苗間字神明後293-15	50	163	個人住宅	13.4.11 13.4.12~13.4.13	試掘調査後教育 委員会で本調査
26	神明後遺跡第16地点	苗間字神明後309-14	189	165	個人住宅	13.7.23~13.7.24 13.7.25~13.9.3	試掘調査後教育 委員会で本調査
27	神明後遺跡第17地点	苗間字神明後369-1	7.5	581	個人住宅	14.3.28	試掘
28	苗間東久保遺跡第22地点	苗間645-11	6	99	個人住宅	13.10.25	試掘
29	浄禅寺跡遺跡第20地点	苗間字神明後351-1	17.6	223	倉庫	13.10.26~13.10.29	試掘
30	浄禅寺跡遺跡第21地点	苗間字東久保591-3,592-7	12	182	個人住宅	13.11.19~13.11.20	試掘
31	本村遺跡第96地点	苗間101街区5画地	99	301	個人住宅	13.7.10~13.7.13	試掘
32	本村遺跡第97地点	大井・苗間82街区11画地	40.5	132	個人住宅	13.7.11~13.7.12	試掘
33	本村遺跡第98地点	大井・苗間94街区1画地	17	144	学童保育所	13.12.17~13.12.19	試掘
34	東台遺跡第34地点	大井字東台624-2	608	1,414	共同住宅	14.3.12~14.3.25 14.3.26~14.5.8	試掘調査後遺跡 調査会で本調査
35	東台遺跡第35地点	大井字東台649-31	7.5	48	個人住宅	13.9.6~13.9.8	試掘
36	東台遺跡第36地点	大井字東台614	136	272	倉庫	13.10.15~13.11.2	試掘
37	東台遺跡第37地点	大井字東台626-12	101	100	個人住宅	13.10.12~13.11.5	教育委員会で本調査
38	東台遺跡第38地点	大井字東台614-3	400	787	駐車場	14.1.28~14.2.15	試掘
合 計			6,145.9	19,133			

V 東久保遺跡の調査

1 遺跡の立地と環境

東久保遺跡は入間川の支流新河岸川に注ぐ福岡江川の谷頭部から、約500～1,000m程下った右岸に位置している。標高17～20mで現谷底との比高差は約3～4mを測る。福岡江川の左岸の南面は急傾斜を成す。本遺跡をのせる右岸の台地は県道東大久保・大井線を境に南北および西側に緩やかに傾斜する。遺跡の南側縁辺には用水路が流れており、用水路以前にも流水があったものと考えられる。

遺跡周辺は急激な市街化によって工場や住宅、町立亀久保小学校が建ち、現在は区画整理事業が実施され今後更に開発が予想される。

周辺の遺跡は、本遺跡と福岡江川間に平安時代の遺物を出土する江川東遺跡が位置する。西側約50mに江川南遺跡、南側に隣接して亀久保堀跡遺跡が位置する。

本遺跡の調査は1976年から2002年12月現在、47地点で試掘調査および発掘調査が行なわれている。

旧石器時代、縄文時代中期及び中・近世期の遺跡である。旧石器時代礫群、縄文時代の落し穴・土坑・集石土坑等、中・近世は溝や柵跡が確認されている。

2 東久保遺跡第41地点

(1) 調査の概要

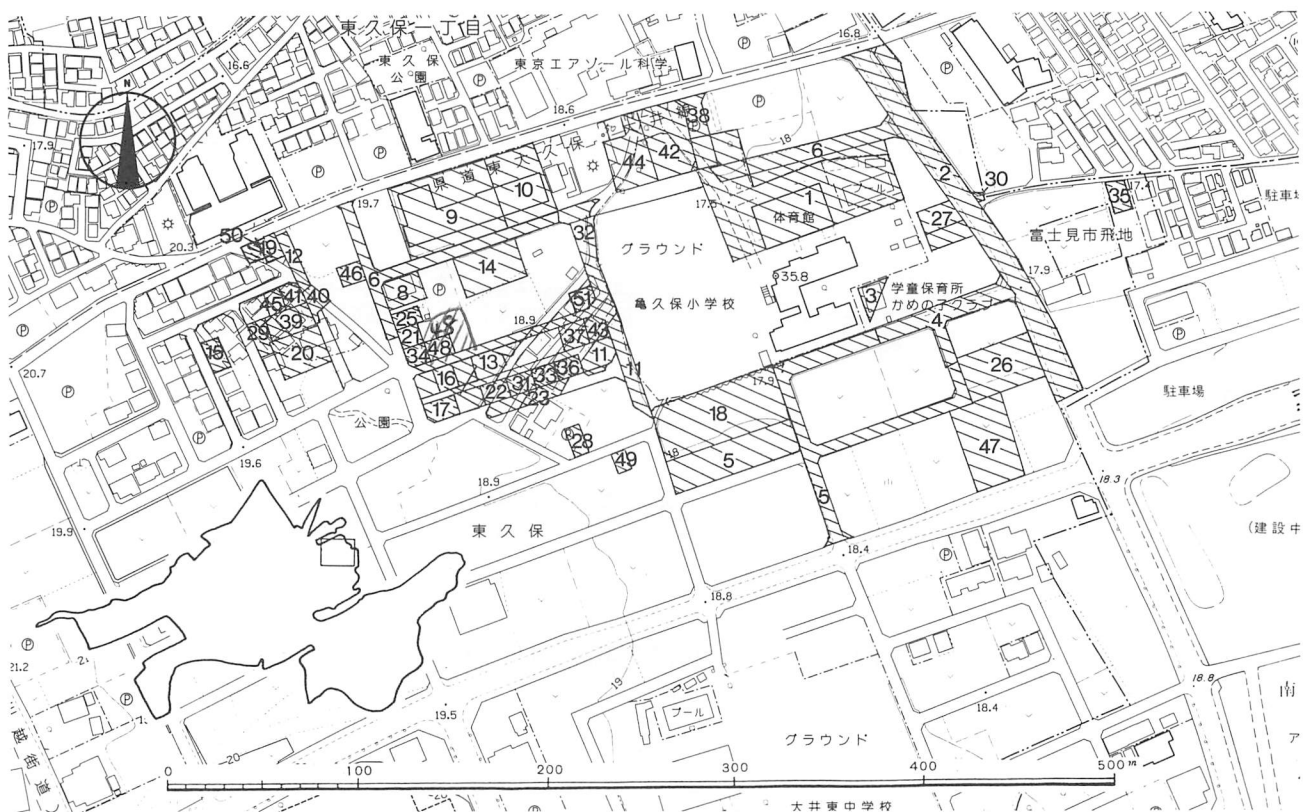
調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2001年4月4日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の西側に位置し、隣接地で遺構を検出しており申請者と協議の結果、遺構の存在を確認する試掘調査を実施した。

調査は5月28日から幅約1.7mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行ない、近世以降とみられる溝状遺構を1本確認検出したが、遺物は確認されなかった。写真撮影・全測図等の記録を行なったうえ埋め戻しを行ない、5月29日調査を終了した。

3 東久保遺跡第42地点

(1) 調査の概要

調査は駐車場敷設に伴うもので、原因者より2001年4月16日付で、「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の北部に位置しており原因者と協議の結果、遺跡範囲と遺構の存在を確認



第11図 東久保遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

5 東久保遺跡第44地点

(1) 調査の概要

調査は倉庫建設に伴うもので、原因者より2001年4月24日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央部北寄りに位置するため申請者と協議の結果、遺跡範囲と遺構の存在を確認する試掘調査を実施した。

調査は5月10日から区画整理事業で廃道となった旧道路部分を重機で表土除去後、人力による表面精査を行なった。溝状のプランと遺構らしきプランを確認後検出した。さらに、6月28日から幅約2mのトレンチ1本を設定し重機で表土除去後、人力による精査を行ない、遺構らしきプランを確認後検出した。写真撮影・測量等を行なったうえ、翌日埋め戻しを行ない調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

時期不明の溝2本とピット5基、縄文時代とみられ

る落とし穴1基を検出した。トレンチ2のプランは縄文時代の堆積土に類似するが、底部に小さな凹凸が複数みられ風倒木跡とみられる。

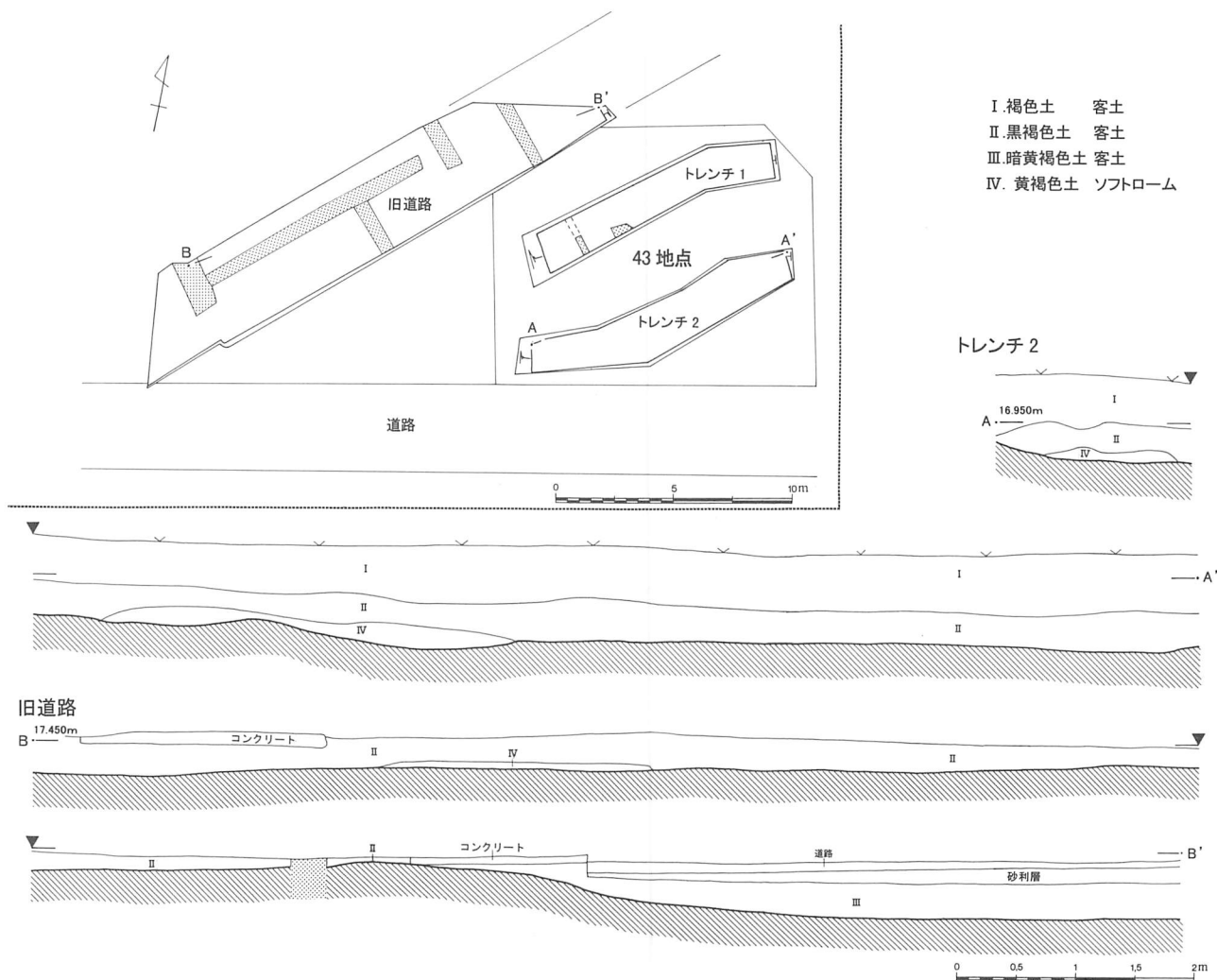
①溝

【溝1】旧道路に沿って南北に延び、中央部やや北側で2本に分かれる。検出部の規模は上幅25～86cm、下幅8～35cm、深さ10.6～30.9cmを測る。

【溝2】溝1の南側に位置し、覆土層の観察から本溝が溝1より古い。検出部の規模は上幅45～80cm、下幅11～20cm、深さ24.9cmを測る。

②落とし穴

調査区中央部やや北側、溝1と重複し長軸方向は東西方向で、長軸が等高線に並行するように位置する。平面形態は隅丸長方形で底の中央部がピット状を呈する。規模は上端67×156cm、下端24×126cm、深さ71.6cmを測る。



第14図 東久保遺跡第43地点調査区域図 (1/300)、土層 (1/60)

③ピット

調査区中央部で5基を検出した。覆土層の観察から、溝1・2に近い時期とみられる。

第6表 東久保遺跡第44地点ピット一覧表 単位cm

	平面形態	確認面径	底 径	深 さ
1	隅丸方形	10×16	6×15	20.8
2	隅丸方形	24×24	13×19	9.9
3	隅丸方形	23×30	10×18	15.4
4	隅丸方形	20×25	9×14	18.3
5	円 形	27~28	10~12	19.2

④出土遺物

1は遺構外出土の深鉢形土器胴部片である。短い原体による縄文を施す。胎土に茶色細砂粒・白色微砂粒を多く含む。2は先端部を欠失した砂岩製の打製石斧で両側縁のチョッピングが著しい。重さ100.69gである。3は砂岩製撥形打製石斧の完形品で、重さは84.28gである。2と3は共に溝1出土である。4は肥前系磁器の碗底部片で染付けを施す。

6 東久保遺跡第45地点

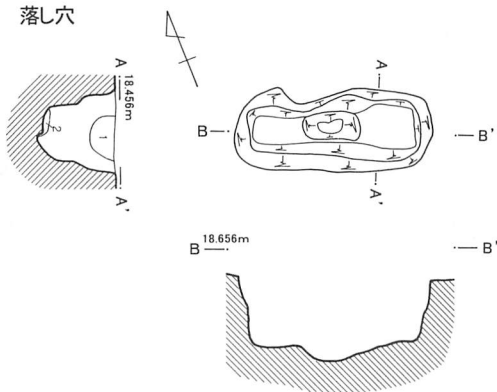
(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2001年5月1日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。

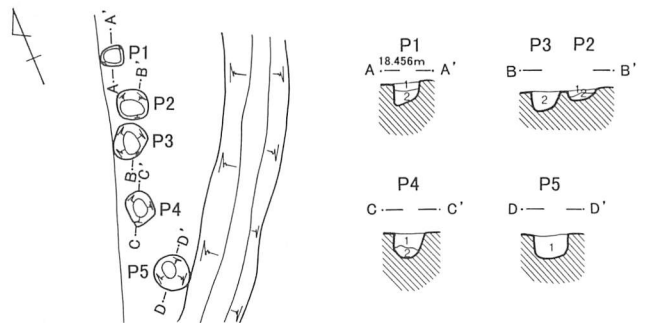
申請地は遺跡の西側で、第41地点に隣接するため申請者と協議の結果、遺跡範囲と遺構の存在を確認する試掘調査を実施した。

調査は6月1日から、幅約3mのトレンチ1本を設定し重機で表土除去後、人力による表面精査を行なったが遺構は確認されなかった。写真撮影・全測図等記録を行なったうえ埋め戻しを行ない調査を終了した。

落し穴



ピット



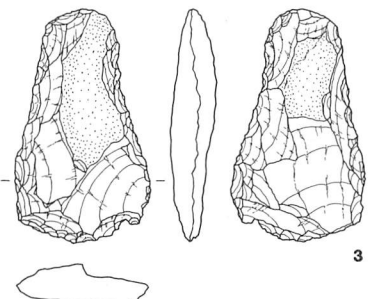
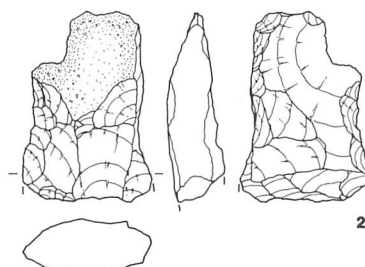
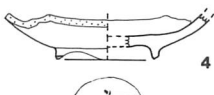
落し穴

- 1.暗褐色土 1mm以下ローム粒少し含む
2.褐色土 2mm以下ローム粒多く含む、2~3cm大しみ状黒色土少し含む

ピット

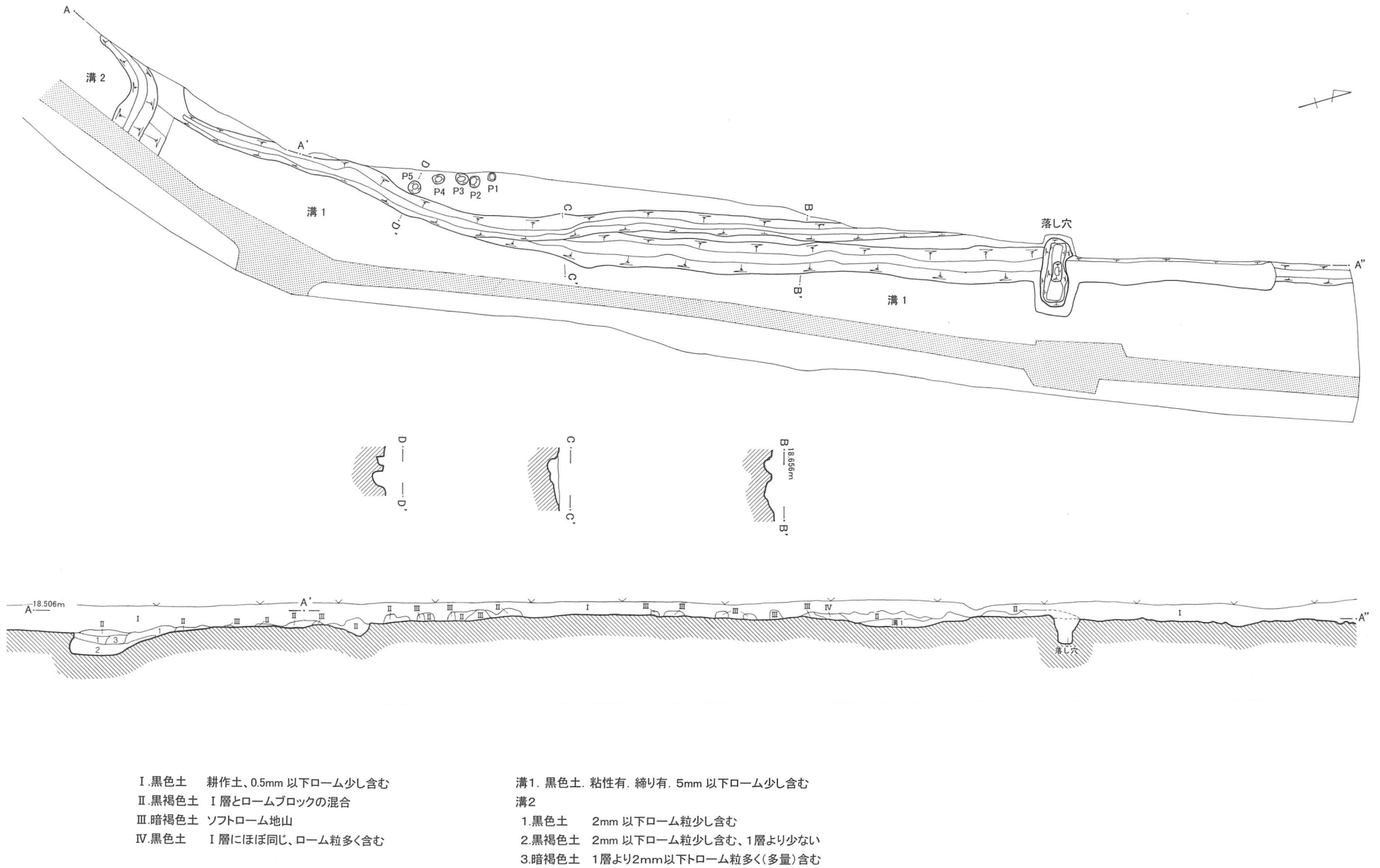
- 1.黒色土 5cm以下ロームブロック多く含む
2.褐色土 ロームベースにしみ状黒色土少し含む

0 0.5 1 1.5 2m



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10cm

第15図 東久保遺跡第44地点落し穴・ピット (1/60)、出土遺物 (1/3)



第16図 東久保遺跡第44地点溝 (1/120)



東久保遺跡第43地点調査区近景



東久保遺跡第43地点トレンチ全景



東久保遺跡第44地点溝1・調査区全景



東久保遺跡第44地点溝1・調査区全景



東久保遺跡第44地点落し穴



東久保遺跡第44地点溝2



東久保遺跡第44地点ピット1～3（右から）



東久保遺跡第44地点ピット4・5（右から）